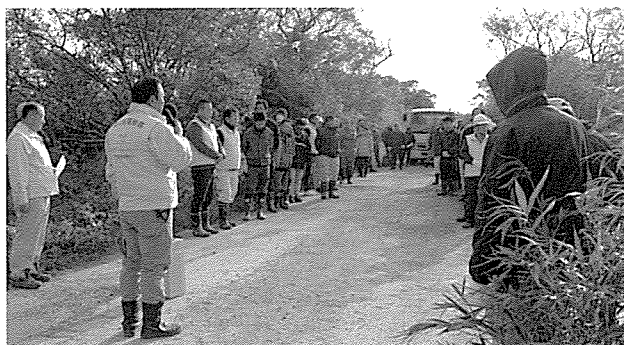


## 東三河支部

### 田原市の要請を受けて 協会員、行政、地元住民が不法投棄物撤去作業

東三河支部（松井忠博支部長）は、地域社会奉仕活動の一環として毎年行っている不法投棄物撤去作業を、11月26日（日）会員、行政、地元住民ら総勢72名が参加して実施しました。この撤去作業は田原市役所の要請を受け、田原市小中山町立馬崎地内の砂利道200メートルの両側に長年放置され続けた大量の不法投棄ごみがあり、その撤去作業を行いました。



年も放置された現場です。撤去作業を終えた地元協議会の方は「無視しては何も解決できません。清掃活動の大切さを町内皆さんに伝えたいと思います。」と率直な想いを述べました。

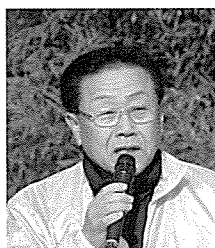
収集した可燃ごみ（紙くず、布類、お菓子袋、廃プラスチック類）はフレコンバッグ70袋あり会員協力の収集運搬車5台に積み込みました。

ビン・缶は田原市指定のごみ箱に、陶器類、一輪車、廃タイヤ、コード類、電子レンジ等の粗大ごみ、廃家電は田原市指定の軽トラック3台に積み込み、渥美資源センターへ搬入して撤去作業は午前中で終了しました。



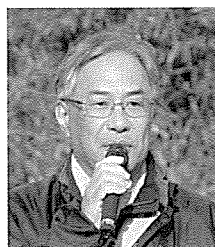
挨拶をする松井支部長

会員は午前9時、現場近くの空地に長靴、作業着、ヘルメットを装備して集合し、作業場所へ歩いて向かいました。現地では田原市市民環境部長 鈴木 努氏ら職員6名、地元田原市中山コミュニティ協議会会長 中尾利之氏ら7名と合流し、松井支部長、鈴木部長、中尾会長の開催挨拶の後撤去作業を開始しました。



挨拶をする田原市環境部長 鈴木部長

作業現場となった砂利道の両側は、雑草や木、蔦、竹が覆い茂る崖で、菓子袋やビニール袋、紙くず、布などの雑多なごみが草木に絡まった状態で堆積していました。耕作用の一輪車や道具類や洗濯機、テレビ等の廃家電、電子レンジ、廃タイヤ、木材等の粗大ごみも散乱していました。



挨拶をする中山コミュニティ協議会 中尾会長

作業は足元の悪い中で行われ、木や竹で身体を支えながらごみを引っ張り出してフレコンバッグに収集しました。埋もれたごみを掻き出す作業には会員協力の小型ショベルが活躍しました。大半は生活ごみで、何十

